

平成27年5月
13号

自立からの風 だより

発行
障害者支援施設 自立生活訓練センター
兵庫県神戸市西区曙町1070 TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9229



目次

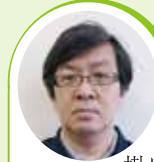
- 1 表紙（職員集合）
- 2 平成27年度事業計画
- 3 ご挨拶 自立生活訓練センター所長
「車椅子メンテナンス」について
- 4 新任・転入職員紹介／編集後記

新任・転入職員紹介



看護師 山本 友代

おおぞらのいえから異動してきました、看護師の山本友代です。まだまだわからないことが沢山ありますが、ひとつひとつできることを積み重ねていって安心感を与えられる看護師になりたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



支援員 山田 一郎

4月から訓練課に異動になりました山田です。初めてなので慣れないことも多く、ご迷惑をお掛けする事も多いかもしれませんが、よろしくお願いします。



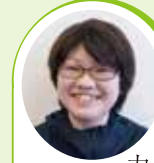
理学療法士 安政 尚子

この4月に2年間の育児休業から復帰しました、理学療法士の安政尚子です。仕事と育児に毎日バタバタですが精一杯努めます。宜しくお願い致します。



支援員 高橋 彩映

昨年結婚し、苗字が澤田から高橋になりました。「高橋さん」にはまだまだ慣れず本人が間違えることも多々ありますが、訓練課支援員としてフレッシュな気持ちで新たにスタート出来るよう頑張ります。



作業療法士 津田 明子

中央病院からきました津田と申します。利用者様の社会参加の幅が広がるよう、少しでも力になればと思います。ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、宜しくお願いいたします。



支援員 菅原 智紀

はじめまして、今年からこちらで働くことになりました菅原智紀です。大学を卒業したばかりで、今は働きながら放射線技師の資格の勉強をしています。少しでも早くみなさんに顔を覚えてもらえるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします！



作業療法士 服部 芽久美

中央病院から来ました服部芽久美と申します。不慣れで知らないことも多くご迷惑をおかけ致しますが、早く馴染めるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



支援員 井澤 まゆみ

はじめまして。5月1日より訓練課で働かせていただくことになりました、井澤まゆみです。福祉の仕事は初めてなので、不慣れで、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一日も早く慣れるように毎日、頑張っていきたいです。よろしくお願いします。



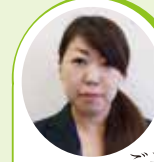
管理栄養士 松本 彩奈

異動により、4月から勤務させていただいております、管理栄養士の松本彩奈です。慣れない点が多く、戸惑うこともあります、食事・栄養面から利用者の皆さまを支援していけるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。



支援員 榎原 ゆかり

4月6日より2階で勤務している、榎原ゆかりです。まだまだなれなく毎日勉強中ですが利用者さんに安心してもらえるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



栄養士 織田 智子

4月から働かせていただくことになりました、栄養士の織田智子と申します。不慣れな事も多くご迷惑おかけいたしますが、早く慣れて皆様に喜んでいただける献立作りを頑張りますので、これからよろしくお願いがいたします。

編集後記

自立生活訓練センターでは新規、転入職員を迎え、新年度をスタートさせました。表紙に起用しました職員写真のようにチーム一丸となって、日々業務に取り組みたいと思います。この機関誌を通して、利用者の方との関わりや訓練課での取り組み、イベントの様子などをお伝え出来ればと思います。よろしくお願いします。



平成二十七年 度

自立生活訓練センター

事業計画

1 概要

総合リハビリテーションセンターにおける社会リハビリテーションの中核施設として引き続き施設経営の安定強化に取り組む。平成二十七年度は、施設の長寿命化を念頭に改修に向けた各種調整を行うとともに、全国身体障害者更生施設長会総会・身体障害者リハビリテーション研究集会二〇一五開催担当施設として、更なる全国発信を行う。

2 平成二十七年 度の主要となる方針（考え方）は次のとおり

（1）利用者本位のサービスの提供

総合リハビリテーションの社会リハ部門を担う施設として、年間約九十名の利用者が復職や、社会復帰してきたが、さらに一人でも多くの利用者の社会復帰が実現できるよう、社会生活力プログラムの充実・強化を推進する。

高次脳機能障害を有する利用者支援については家族の参加の必要性から、現状の支援プログラムに加え、関係者が連携し総合的に支援できる仕組みの構築を目指す。さらに、障害者の移動手段に欠かせない自動車の運転指導における指導技術の評価基準策定に向けた県内自動車学校との連携・強化を進め、その他介助犬、聴導犬認定事業の実施等、普及促進を図る。

また開設して二十年を超えた施設の長寿命化を念頭に置き、新たな機能づくり等を含めた改修のための各種調整を行う。

- （拡充） 自立生活訓練センターの改修の実施
- （拡充） 障害者自動車運転訓練評価基準の策定
- （新規） 全国身体障害者更生施設長幹事会・総会及び身体障害者リハビリテーション研究集会二〇一五の開催

（2）地域で支えあう仕組みづくり

地域における交通安全啓発事業として、高齢者・地元小学校の児童を対象とした交通安全教室を開催する。また、三ヶ月に一回程度、看護師による地域健康相談室を開き、地域住民が気軽に看護師に相談できる場を設け気軽に健康のこと、医療上の不安などの話を受け助言や情報提供を行う。健康で安心した地域生活の環境作りに寄与する。

○（拡充） 社会貢献事業の実施

（3）福祉と医療の連携による事業推進

総合リハビリテーションセンター内の関係部署（リハビリ中央病院、高次脳機能障害相談窓口、職業能力開発施設等）及び外部の関係機関（回復期リハビリテーション病棟、地域生活支援センター、各地域相談支援事業所等）との連携の下、医学リハから社会リハ、地域支援へと一連の継続的な支援体制の充実と地域への情報発信を推進する。

（4）人材育成と働きがいのある職場づくり

事業団が主催する研修と連動しながら外部研修への参加を計画的、体系的に実施する。職場内研修としては、職員及び精神科医を講師とした研修を二週間に一回行うとともに、各関係機関、研修会等への積極的な参加と研鑽を重ね、社会リハビリテーション実践についての知識や技術を広く情報発信できる人材の育成を図る。また、専門職としてのスキルを磨く一助として介護福祉士・社会福祉士等の資格取得に向けた勉強会を計画的に行い現場の支援意欲の向上に繋ぐ。

（5）経営基盤の安定・強化

リハビリ中央病院との連携、これまでの利用受入・相談対応した医療機関を含む医療・福祉事業所等各機関への働きかけとして年間八十件以上の訪問の実施、ホームページを定期的に更新し魅力ある施設を最大限にPRする。また、夜間体制を強化し安全で安心な施設機能の充実を目指す。（具体の職員体制については正規職員比率の増率を含め、別途人事ヒヤリングで協議する）

そして、利用者ニーズに合致した施設づくりへの研究及び情報発信に努め、利用者の安定確保、経営の安定を図り、年間入所利用率八十五%以上を維持する。

最高なゴールを目指して



自立生活訓練センター所長

謝 世業

桜の花びらが風に舞い、いつの間にか、野や山の若葉、そして青葉をわたる風も心地よく感じられ、木々の緑が鮮やかな季節となりました。

自立生活訓練センターも新しい年度を迎え、新しい職員体制のもと、利用者の皆様は社会復帰等を目指して、訓練に取り組まれています。

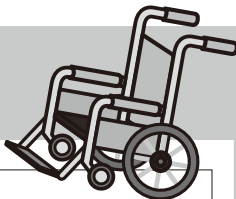
昨年度は、過去三年間で一番多い九十七名の利用者様の卒業があり、復職をはじめ、新たな道に進まれています。最近の訓練期間が約一年と、短くなる傾向の中で、この成果は、とても素晴らしいことです。今年度も利用者様を施設をあげて支援していきたいと思ひます。また、兵庫県福祉サービス第三者評価を受審し、「極めて優秀」との評価をいただきました。しかしまだ取り組むべき課題もあります。この結果に甘んじることなく、さらに改善に取り組んでいきます。

今年度は、昨年度に引き続き、施設大規模改修基本設計を下に、修繕等計画の検討を進めていきます。既に築年数二十年を超え、建物の老朽化や不具合もでているだけに喫緊の課題です。

さらに全国の障害者支援施設、身体障害者更生相談所の関係者による身体障害者リハビリテーション研究集会二〇一五を、十一月に総合リハビリテーションセンターで開催します。総合リハ及び当施設のPRの絶好の機会ですので、素晴らしい大会となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

利用者様お一人おひとりの「最高なゴール」を目指して、自立生活訓練センターは今年度も慌ただしく動いていますが、総合リハの出口機関として、また社会リハビリテーションの要として、職員一同、力をあわせて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

車椅子メンテナンス



セラピスト集団訓練 車いすのタイヤ交換に挑戦しよう！



写真

車椅子が必要な方は、日々の訓練で車椅子を酷使するため日常的な点検や簡単な整備がかかせません。しかし、より精度の高い点検や整備を行うためには専門の業者へ依頼することがあります。そのため、月1回専門の業者が訓練課に来所し「車椅子メンテナンス」を行っていただいています。そこでは、訓練課の車椅子の点検や利用者さんからの相談を通して、訓練課職員や利用者さん自身の知識向上につながっています。

また昨年は、日常的に起こりうるパンクについて、ご自身で行えるように講習会を実施しました（写真）。「自分で行ってみると意外と簡単にできるんですね」など良い感想もいただいています。

最後に、「ブレーキのかかりが悪くなった」という、よくあるケースについて、対処方法をまとめたいと思ひます。

対処法1：「タイヤの空気圧を確認する」

タイヤの空気圧が低くなると、ブレーキの摩擦力が弱くなりかかりが甘くなる場合があります。空気を十分に入れると解決することがあります。

対処法2：「タイヤの溝を確認する」

長期間の使用によりタイヤの溝が無くなり、空気があるにも関わらずブレーキとタイヤの摩擦力が弱まりブレーキのかかりが甘くなります。タイヤ交換かブレーキとタイヤの間隔を調整し摩擦を強くしましょう。

対処法3：「ブレーキの接触面を確認する」

長期間の使用により、ブレーキの摩擦面が磨耗しツルツルになっていることがあります。タイヤの溝や空気圧に問題が無いときはブレーキを点検し交換しましょう。